

# ベトナム担当の「ダブルウィッシュ」が、本日現地へ向けて出発！

## アジア版 あなたの街に“住みます”プロジェクト 住みますアジア芸人 全9組13名、5カ国への移住が完了！！

— ご案内 —

アジア各国・地域でジャパンコンテンツを創造・発信し、総合エンタテインメント・ビジネスを推進することを目的に設立した合併会社「MCIP ホールディングス」の活動の一環として、アジアへの最初のかけ橋となるプロジェクト「アジア版 あなたの街に“住みます”プロジェクト」が、吉本興業の主導にてスタートしております。4月の末に8組11名の芸人が、「住みますアジア芸人」として、台湾・タイ・インドネシア・マレーシアへと旅立ち、各地で生活の基盤を整え活動しております。そして本日、ベトナム担当となるコンビ芸人“ダブルウィッシュ”の二人が、ベトナム現地へ向け出発しました。

2人は本日、日本時間16時頃には現地に着予定。しばらくホーチミンの中心部に住み、まずは生活・仕事の基盤を整え、時期をみてホーチミン郊外への引越しも予定しています。ベトナムは言語が極めて難しいとのことですが、日本のコンテンツはもちろん、エンタテインメントのコンテンツ自体が不足している国ということもあり、チャンスは多いのではないかと期待しています。出発前のダブルウィッシュのコメントと合わせて、住みますアジア芸人の近況をご報告させていただきます。



——ベトナム行き直前を迎えた今の心境は？

井手（写真右）：やっといけるなというのと、とうとうこの日が来たんだというので、期待と不安がすごく入り混じって、昨日、寝られなかったんです。いざ直面すると、不安の方がでかいかもしれないですね。でもやらなきゃいけないという使命感があり、向こうでスターになりたいので、がんばりたいです。

中川（写真左）：期待と不安が半分ずつで、僕も同じようにやらなきゃという気持ちが強いです。去年結婚しまして、妻にも、これがダメだったら辞める覚悟で、と言ってベトナム行きの上承をもらったので、絶対にチャンスをつかみたいですね。

——ベトナム行きが決まってから、周囲の反響は？

中川：マジで行くんか？ って言われましたね。

井手：僕はロンドンブーツ1号2号の淳さんに、3回くらい止められて、最後は「何も言わない。がんばってこい」と言ってくださいました。淳さんは台湾で番組をしていた際に、言葉の壁を感じたそうで、「言葉だけはちゃんと勉強しろ」とアドバイスをもらいました。

——最後に改めて意気込みをお願いします。

中川：ベトナムで売れっ子MCみたいなポジションにはいきたいですね。

井手：まだベトナムで活躍する日本人タレントはいないみたいなので、その枠はチャンスだと思います。ベトナムで一番有名な日本人になりたいです。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

(株) よしもとクリエイティブ・エージェンシー プロモーションセンター 担当：生井

【TEL】 03-3209-8256 【携帯】 080-1501-3845 (生井) 【E-mail】 namai.azusa@yoshimoto.co.jp

## 【住みますアジア芸人】について

### ▼住みますアジア芸人

台湾：漫才少爺（マンザイボンボン）  
タイ：あっぱれコイズミ、ぼんちきよし、ベン山形  
インドネシア：ザ・スリー、そこらへん元気、  
アキラ・コンチネンタル・フィーバー  
マレーシア：エスディーきんじょう、  
ベトナム：ダブルウィッシュ



### ▼「アジア版 あなたの街に「住みます」プロジェクト」の目的

アジアでのエンタテインメント事業展開の基盤を構築すること。「住みますアジア芸人」は、各国で日本のエンタテインメントコンテンツを広める伝道師として、現地に密着し、現地の人々の生活、笑い、エンタメ、流行、そして言語を学び、自らジャパンコンテンツを現地の人々に発信し、さらに日本に向けて各国の情報を発信してまいります。そして、住みますアジア芸人が各国で人気者になることを目指します！

### ▼日本とアジアへの発信

「住みます芸人」は、YouTubeやTwitter、フェイスブックなど現地で活用されているSNSをフル活用し、動画を中心に日々コンテンツを配信していきます。異国の文化に戸惑いながらも、現地で奮闘している姿をリアルにお届けします。オフィシャルサイトでは、現地語と日本語で、動画・静止画を使って配信しております。

**【アジア版 あなたの街に住みますプロジェクトホームページ】**  
<http://sumimasu.asia/>

### ▼各国での活動状況

各国の住みます芸人達は、語学の習得と同時に各地でのイベント出演等、精力的に活動しております。その様子はYouTube等でも発信しておりますのでぜひご覧いただければ幸いです。

台湾で活動する漫才少爺<マンザイボンボン>は、6月上旬には日本のマスコミの方からの密着取材等をして頂くなど注目を集めております。また、6月13・14日には、アソビシステムが主催する「Moshi Moshi Nippon Tours in Taiwan」に出演。台湾語で、ライブとイベントMCもこなしました。

インドネシアの3組（ザ・スリー、そこらへん元気、アキラ・コンチネンタル・フィーバー）は、5月にオープンしたインドネシアBSDシティ（イオンモールインドネシア第1号店）でのイベントに参加したり、語学を勉強したり、さらにイスラム教のイスラム神秘主義（スーフィズム）の教団の会合に参加するなど、現地の文化も体験させていただいています。



タイの3組（ぼんちきよし、あっぱれコイズミ、ベン山形）も、よしもとが日本国内で行っているお笑いライブ「週末よしもと」のフォーマットをベースに、現地のコメディアンも出演させるなどのローカライズを加えたお笑いイベントとして開催した「お笑いバンクHaHaHaライブ」で、イベントの前説から司会進行まで、この2カ月で学んだ言語や現地のあるあるネタを織り交ぜながら会場を盛り上げ、イベントをサポートしました。現地ラジオ局の生放送番組（日本語）も6月よりスタートしております。

今後も各国芸人の活動についてご報告させていただきます。何かございましたら、お気軽に下記担当までお問い合わせ下さい。

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

（株）よしもとクリエイティブ・エージェンシー プロモーションセンター 担当：生井

【TEL】 03-3209-8256 【携帯】 080-1501-3845（生井） 【E-mail】 [namai.azusa@yoshimoto.co.jp](mailto:namai.azusa@yoshimoto.co.jp)